

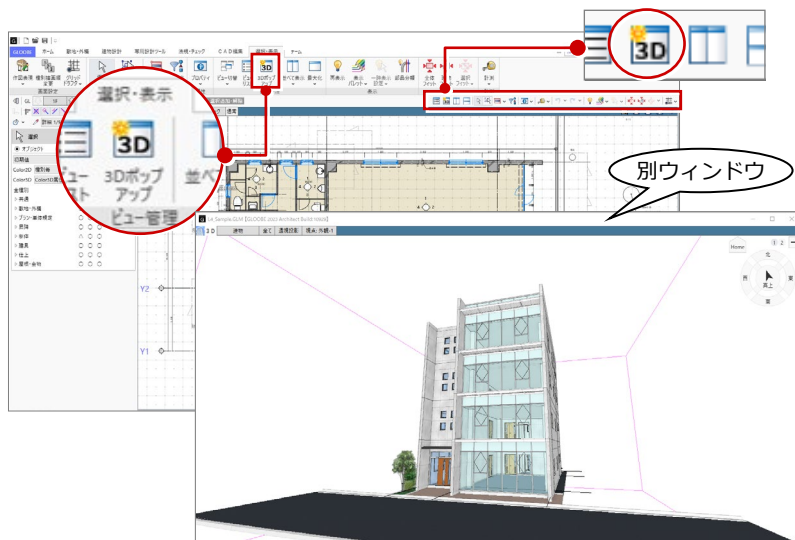
バージョンアップガイド

[2023の新機能]

共通機能

3D ビューポップアップコマンド追加

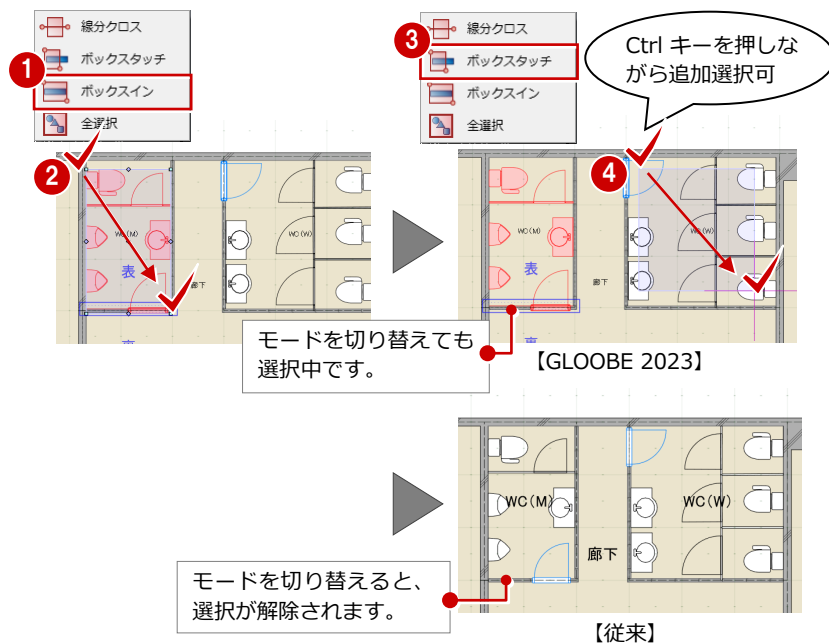
「選択・表示」タブとツールバーに「3D ビューポップアップ」コマンドを追加しました。3D ビューを別ウィンドウで開くことができ、ポップアップビューによるマルチモニタ対応で、快適な作業が可能になります。



選択モードの改良

選択コマンド実行中に、別の選択モードに切り替えても選択中の要素が解除されず、追加選択が可能になりました。

これまで選択モード実行中に、別の選択モードに切り替えると、選択中の要素は選択解除されていました。



部品・汎用・重機を専用変換した部材のパフォーマンスの改善

平面描画の表示速度、3D 計測など 3D 検索の高速化、選択や削除コマンド実行時のパフォーマンスの改善を行いました。以下は、改善ポイントとその結果を表したものです。

・ 検証用サンプルデータ (630MB)

2D データ (要素) : 約 310 万要素
3D データ (面) : 約 580 万面

・ 検証用マシンスペック

プロセッサ : Intel (R) Core (TM) i7-1065G7 CPU
@1.30GHz 1.5GHz
実装 RAM : 16.GB (15.GB 使用可能)
グラフィック : Intel (R) Plus Graphics
専用ビデオメモリ : 128MB
ハードディスク : SSD

■ 改善ポイントと結果 (※ 当社調べ)

	従来	GLOBE2023	効果
2D 表示速度	25 秒	8 秒	70%削減
3D でのスナップ	6 秒	3 秒	50%削減
選択 (全選択)	55 秒	10 秒	80%削減
削除 (編集)	1 分 2 秒	4 秒	93%削減
Undo	2 分 14 秒	1 分 5 秒	50%削減
ファイル読み込み・保存	3 分 29 秒	2 分 42 秒	20%削減

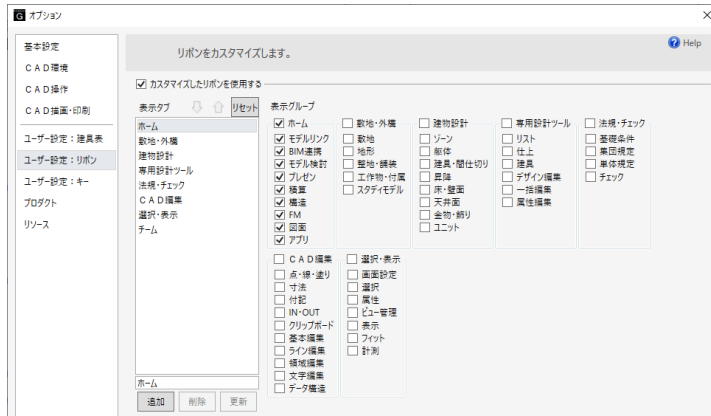
ホーム

リボンカスタマイズ機能の拡張

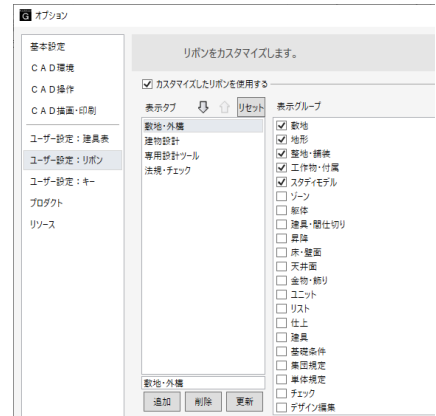
これまで「表示グループ」は項目を一覧で表示していましたが、グループ単位の表示に変更しました。必要とするコマンド表示の見極めができて運用しやすくなります。なお、この設定を有効にするには、再起動が必要です。

※ 表示したい項目を ON にする際、トップの項目を ON にするとグループ内の項目全て ON になります。

※ 選択した項目の並べ替えはできません。



【GLOOBE 2023】



【従来】

※ 「表示タブ」の「敷地・外構」「建物設計」「専用設計ツール」「法規・チェック」タブで表示グループを選択しない場合は、タブを表示しません。



CEDXM 読み込み 筋かい/火打金物

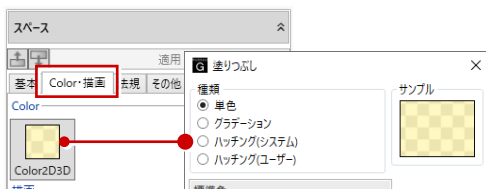
CEDXM 読み込みを行った際に、「筋かい」と「火打金物」のデータは以下の内容で読み込まれるようになりました。



- 「筋かい」を「垂直ブレース」で読み込んだ場合
 - ・ 構造：構造
 - ・ 材質：木
- 「火打金物」を「梁」で読み込んだ場合
 - ・ 名称：火打金物
 - ・ 材質：S
 - ・ Color3D：#FFC0C0C0

J-BIM 連携 IFC 出力の拡張

・ 「IFC エクスポート」ダイアログで「Color3D (単色) を出力する」を ON にした場合、出力時のスペースの色を IfcSpace の立体の色として出力するようにしました。スペースの「Color2D3D」で設定した「種類」によって、以下の内容で立体全面に同じ半透明単色を割り当てます。



塗りつぶしの種類	立体に割り当てられる単色
単色	設定した単色
グラデーション	グラデーションのプロパティ (ベース色)
ハッチング (システム)	ハッチングのプロパティ (塗りつぶし)
ハッチング (ユーザー)	ハッチングのプロパティ (塗りつぶし)

- GLOOBE モデルに緯度・経度・高度が設定されている場合、IFC モデルに緯度経度高度の情報を埋め込みます。

緯度・経度・高度は、「敷地境界・地盤」と「道路」「舗装・緑地」を入力していて、「座標系基準点」コマンドで緯度・経度・高さを設定している場合、IFC 要素の IfcSite に出力されます。

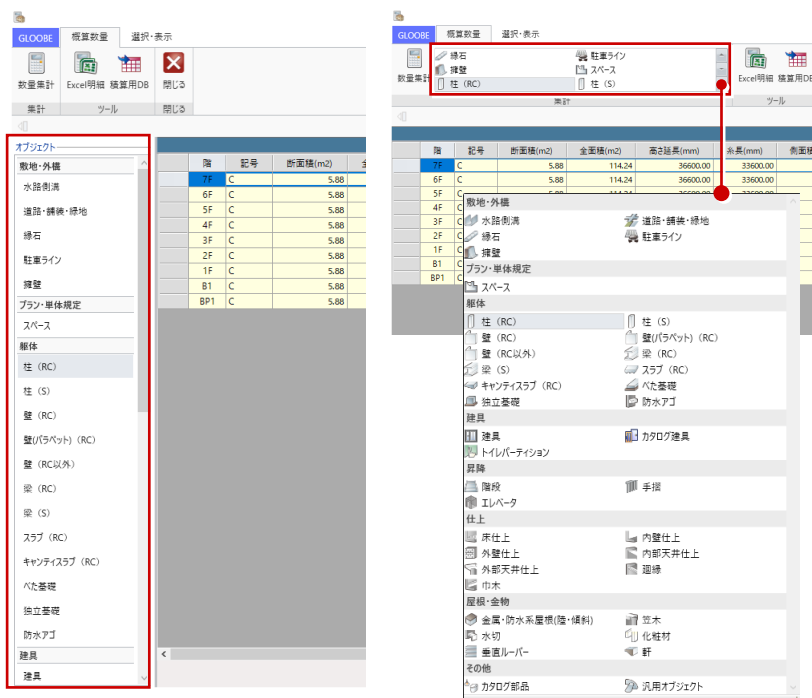
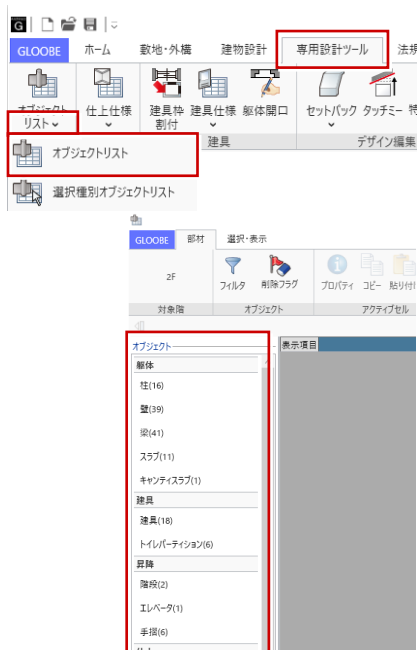


IFC 出力で、モデルに緯度経度高度の情報を埋め込みます。(IFC 要素の IfcSite に出力)

オブジェクト選択の表示位置変更

オブジェクト選択の位置を画面左側に表示するように変更しました。オブジェクトの切り替えがしやすくなります。

※「専用設計ツール」タブの「オブジェクトリスト」も同様です。

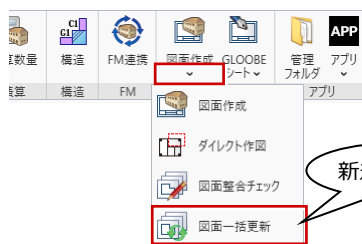


[GLOOBE 2023]

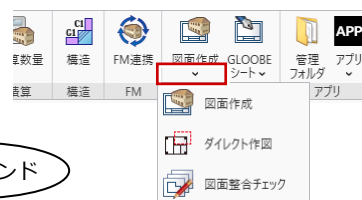
[従来]

モデルでの「図面一括更新」追加

モデル入力画面で図面を一括更新できるように「図面一括更新」コマンドを追加しました。図面作成内の図面を一括再作成する際にも、GLOOBE シートの「図面一括更新」と同様に、図面にて加筆した任意の要素を削除せずに一括で処理できるようになります。



[GLOOBE 2023]



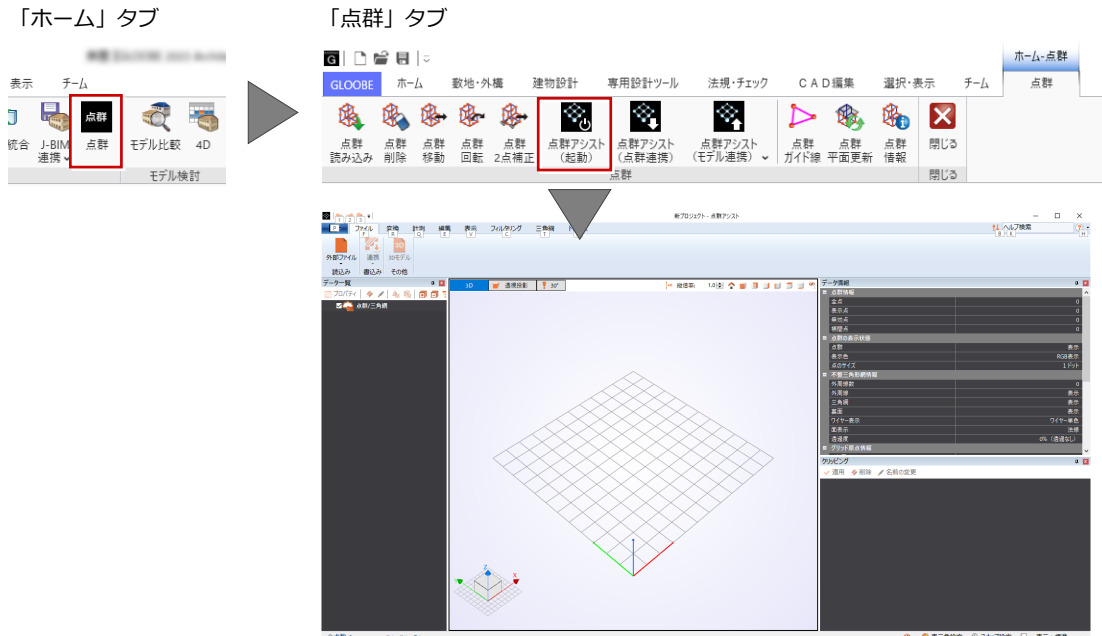
[従来]

点群

点群アシスト（起動）

レーザースキャナーやドローンなどで地形や建物をスキャンしたデータから作成した点群データを読み込み、三角網の作成や距離、面積の計測、差分解析可能なオプションプログラム「点群アシスト」を追加しました。

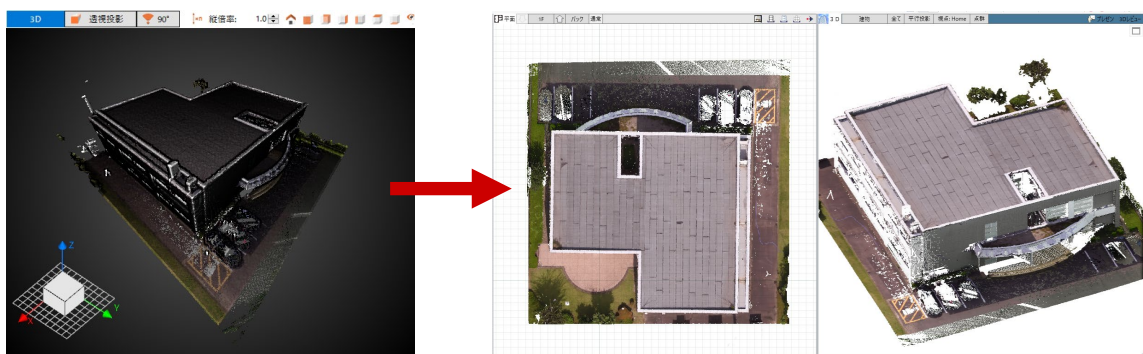
GLOBE からオプションプログラム「点群アシスト」を起動して利用します。



【点群アシスト】

点群アシスト（点群連携）

オプションプログラム「点群アシスト」から点群データを読み込めるようにしました。GLOBE で点群データを使ったプレゼンテーションや建物のモデル生成に利用できます。

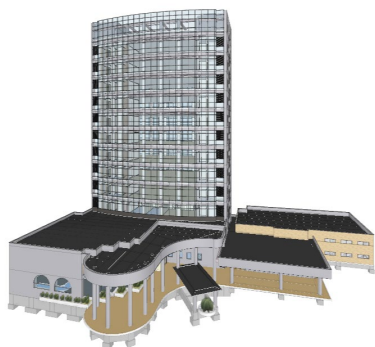
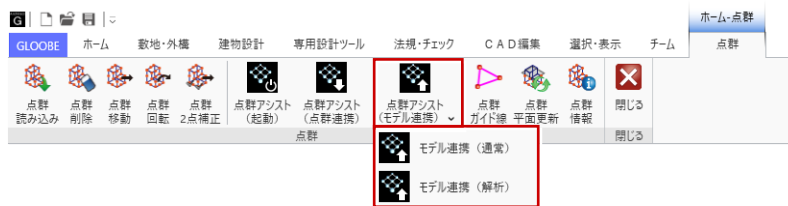


【点群アシスト】

点群アシスト（モデル連携）

GLOBE で作成したモデルからオプションプログラム「点群アシスト」へ連携できるようにしました。

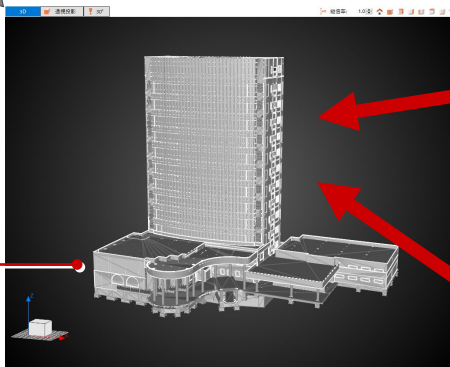
位置関係を保ったままモデル、または三角網と点群データを書き出し、データ間の確認や差分解析に利用できます。



【GLOBE】

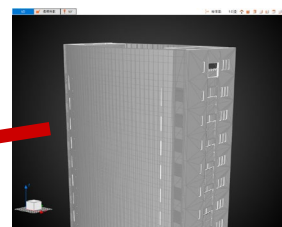


【モデル連携（通常）】

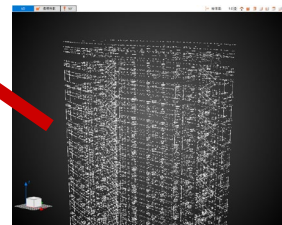


【モデル連携（解析）】

「モデル連携（解析）」は、三角網と点群データが、点群アシストに連携されます。点群アシストで差分解析（三角網）できます。



【三角網データ】

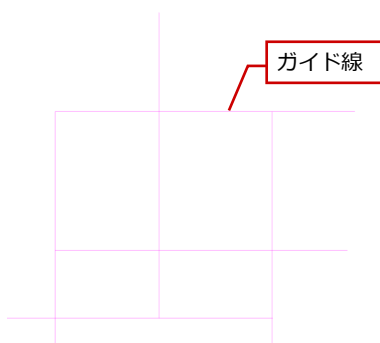


【点群データ】

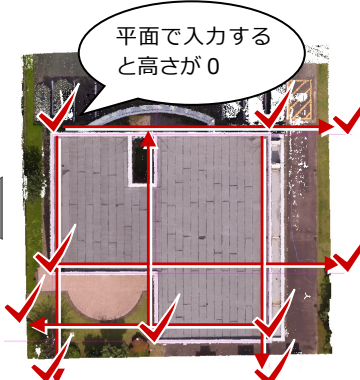
点群ガイド線

取り込んだ点群データを参照してガイド線を入力できるようにしました。

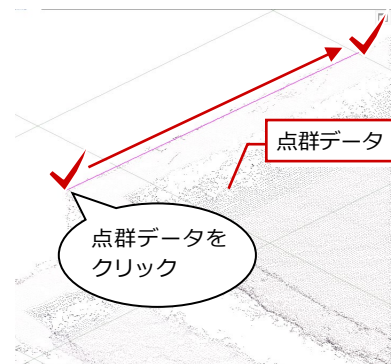
入力したガイド線に沿って部材の入力やオブジェクトの配置がしやすくなります。



【点群範囲の表示を OFF】



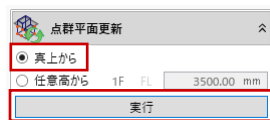
【平面ビュー】



【3D ビュー】

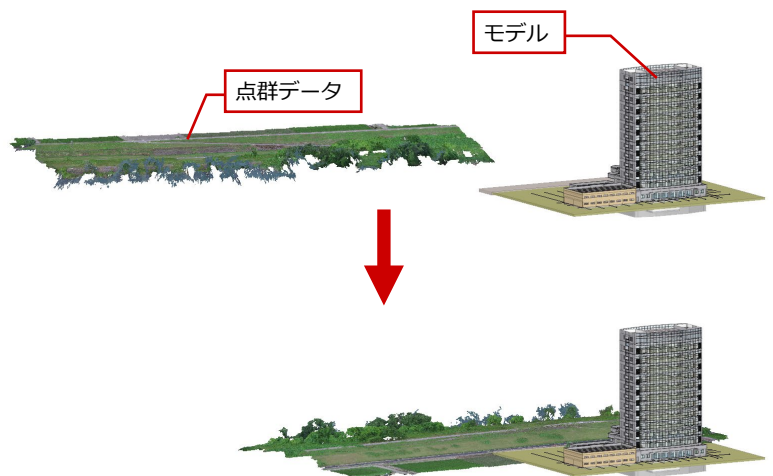
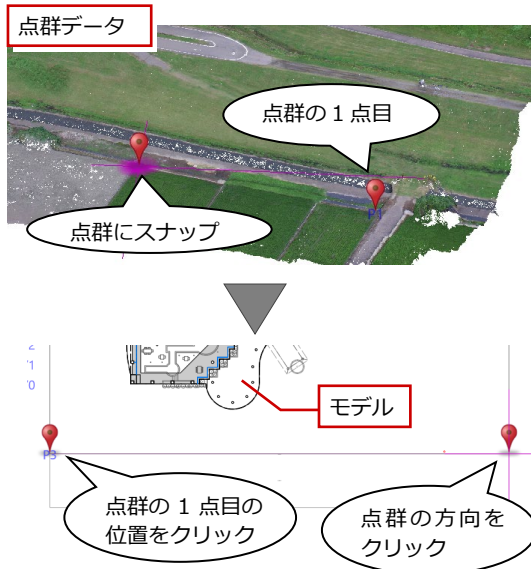
点群平面更新

取り込んだ点群データを指定の高さから表示しないようにすることができます。
建物内部などの点群データの確認がしやすくなります。



点群 2点補正

GLOBE で作成したモデルの位置に合うように、取り込んだ点群上の2点を指定してモデルの位置に回転移動できるようにしました。
点群とモデルの位置合わせを容易に行うことができます。

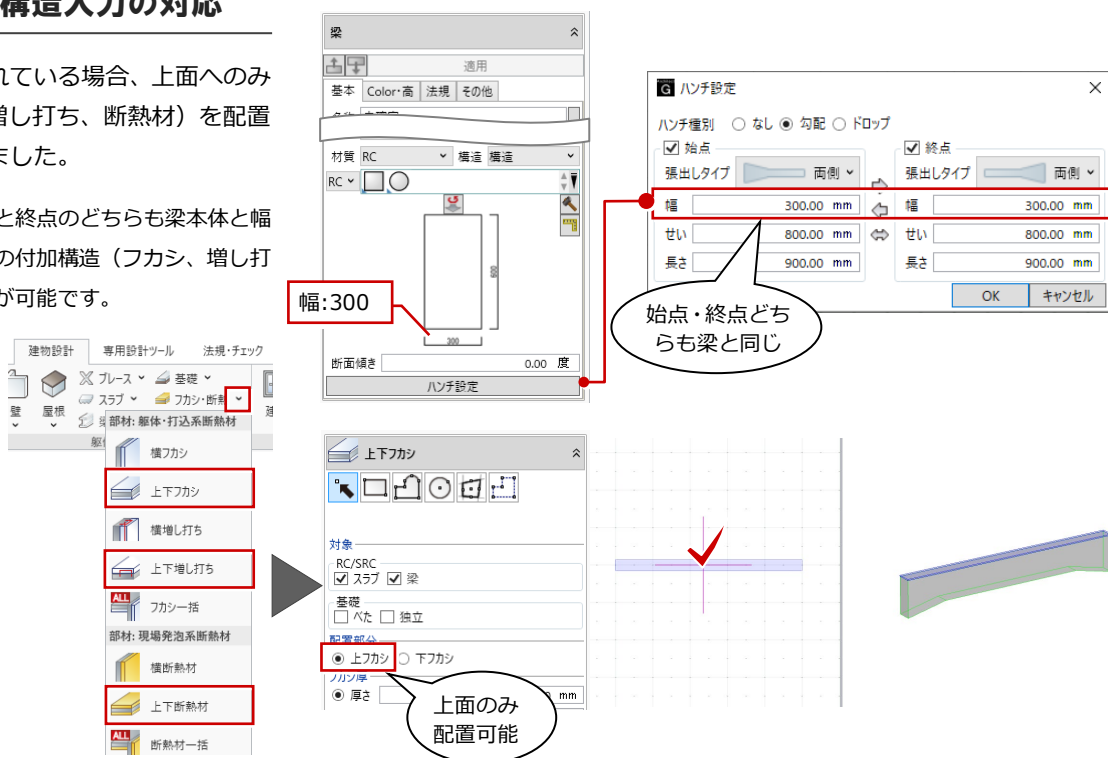


建物設計

梁上面へ付加構造入力に対応

梁にハンチが設定されている場合、上面への付加構造（フカシ、増し打ち、断熱材）を配置できるように対応しました。

※「ハンチ設定」で始点と終点のどちらも梁本体と同じ場合に、上面への付加構造（フカシ、増し打ち、断熱材）の配置が可能です。

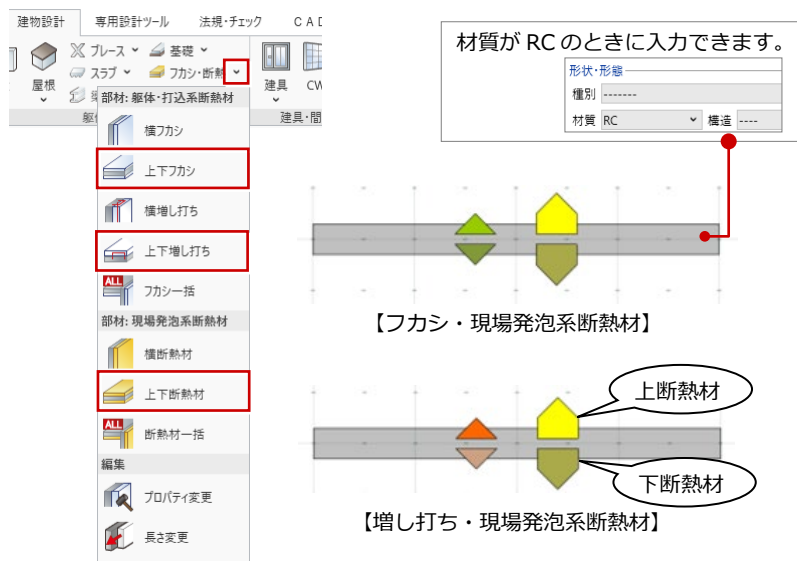


フカシ・増し打ち・断熱材記号

上下のフカシ、増し打ち、断熱材の記号表示に対応しました。

上下フカシ、増し打ち、断熱材は平面で入力状態がわかりづらいことから、入力している場合は記号を表示して、入力状態を視覚的に分かりやすくしました。

※ 記号の色は「選択・表示」タブの「作図表現 (3Dビュー・フカシ等)」で設定します。



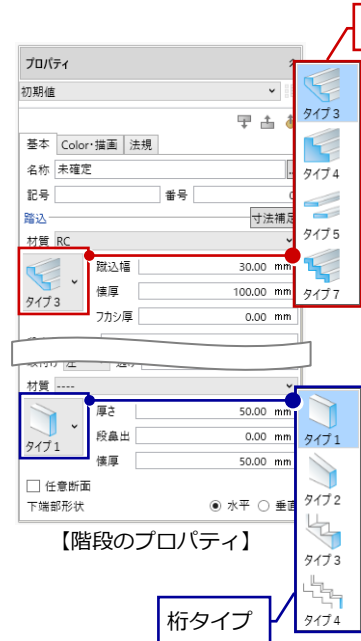
※ 記号形状は、フカシ・増し打ちは三角形、現場発泡系断熱材はベース形でプログラム固定です。

基礎・その他立体包絡強化

これまでの柱・梁・壁・スラブに加え、基礎部材についても立体包絡処理を行いました。これにより、コンクリートやフカシ・断熱材などの集計が行えるようになります。また、3Dビューでの躯体の納まりや、断面図での捨コン・碎石の正確な描画が可能になります。

階段手摺壁の納まり改良

入力モードが「ささら辺参照」「ささら面指定」の場合に、納まりを改良しました。
 階段のタイプと桁のタイプによって、手摺壁の納まりが変わります。



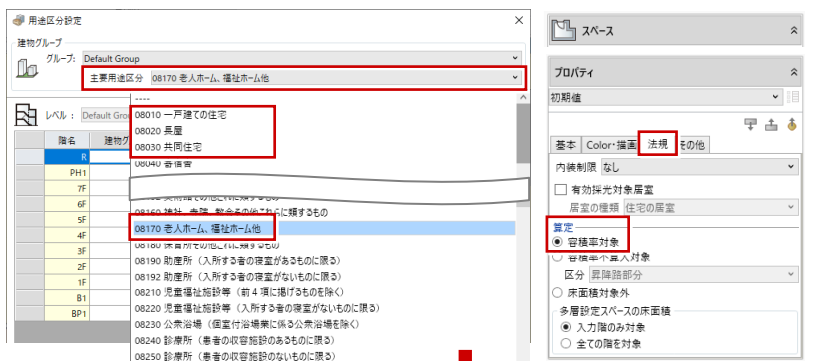
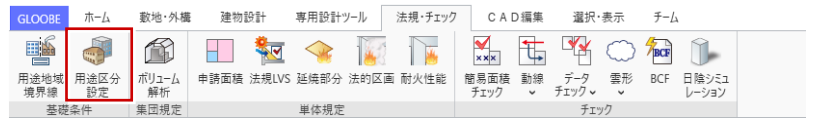
※ 手摺壁の納まり

	桁なし、桁が無い側	桁タイプ 1、2	桁タイプ 3
階段タイプ 3	手摺下端はスラブ下まで	手摺下端は桁天まで	手摺下端は段鼻まで
階段タイプ 4	手摺下端は懐厚 0 の位置まで (階段タイプ 3「懐厚」の値を参照)	【タイプ 1】 【タイプ 2】	
階段タイプ 5	階段タイプ 3 と同じ		
階段タイプ 7	階段タイプ 3 と同じ		

法規・チェック

床面積区画プロパティの自動化

地階の住宅・老人ホーム等の床面積区画
 用途区分やスペース（部屋）などの情報から、床面積区画のプロパティで「容積率不算入対象」、区分は「地階の住宅・老人ホーム等」への自動割り当てに対応しました。
 これにより、地下階部分について手動で変更していた手間を軽減できます。



【条件】

- ・床面積区画の作成階が、「階設定」で「地下階」
- ・用途区分が「住宅 (08010, 08020, 08030)」、「老人ホーム等 (08170)」
- ・スペースの容積率算定情報が「容積率対象」

【自動配置後】

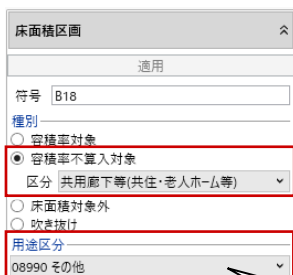
- ・「容積率不算入対象」が ON
- ・容積率不算入区分は、用途区分が「住宅 (08010,08020,08030)」のときは「地階の住宅」、「老人ホーム等 (08170)」のときは「地階の老人ホーム等」



【B1】

「共用廊下等(共住・老人ホーム等)」の用途区分が「08990 その他」の床面積区画

以下の条件を満たしている場合には、床面積区画のプロパティで「共用廊下等(共住・老人ホーム等)」の用途区分を「08990 その他」にして自動配置します。



08990 その他

【条件】

- ・ スペース入力で、「法規」タブの「容積率不算入対象」かつ容積率不算入対象区分が「共用廊下等(共住・老人ホーム等)」の場合
- ・ 所属階の用途区分が「08030 共同住宅」「08170 老人ホーム、福祉ホーム他」以外の場合
- ・ 所属階より上階の用途区分が「08030 共同住宅」または「08170 老人ホーム、福祉ホーム他」、あるいは両方の用途区分の階が存在する場合

複合建築物における「共用廊下等」の容積率不算入面積按分計算に対応

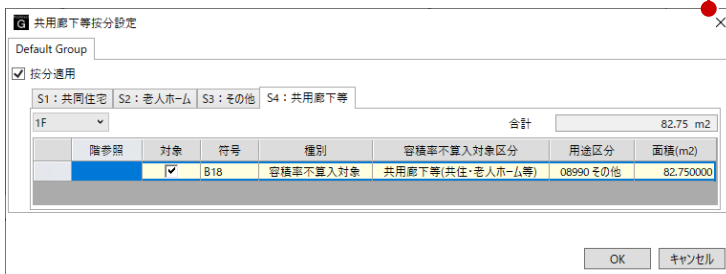
共用廊下等不算入面積確認(按分)

用途に供する部分が複合している「共用廊下等」の容積率不算入面積の按分計算を行うコマンドを追加しました。

用途に供する部分が複合している場合の、容積率不算入面積の按分計算が可能になります。

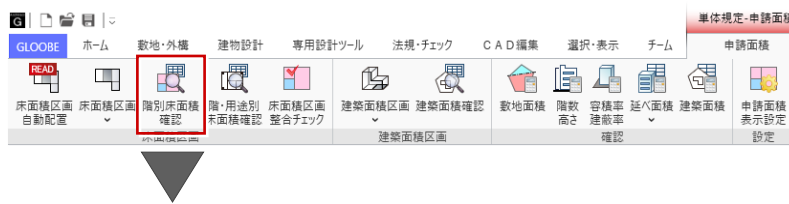


新規コマンド



階別床面積計算表確認

区分ごとの集計を確認できるようにタブを追加し、これまでの床面積区画のリストを「床面積区画」、新たに追加した容積率不算入対象区分ごとの集計結果を「容積率不算入対象区分」タブで表示します。



床面積区画	容積率不算入対象区分	面積(m2)
昇降路部分		9.99
共用廊下等(共住・老人ホーム等)		128.60
車庫部分		81.60
容積率対象面積	合計	174.42 m2
容積率不算入対象面積	合計	220.19 m2
床面積対象外面積	合計	16.28 m2

【GLOBE 2023】

符号	種別	容積率不算入対象区分	用途区分	計算式	面積(m2)
A9	容積率対象		08170 老人ホーム、福祉ホーム他	11.025×3.700	40.792500
A10	容積率対象		08170 老人ホーム、福祉ホーム他	6.725×12.300	82.717500
A11	容積率対象		08170 老人ホーム、福祉ホーム他	7.275×7.000	50.925000
B10	容積率不算入対象	共用廊下等(共住・老人ホーム等)	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	9.000×9.000	81.000000
B11	容積率不算入対象	共用廊下等(共住・老人ホーム等)	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	13.500×7.000	24.500000
容積率対象面積	合計				174.43 m2
容積率不算入対象面積	合計				220.19 m2
床面積対象外面積	合計				16.28 m2

【従来】

床面積区画のエラー判定拡張

「階別床面積計算表確認」ダイアログで「容積率不算入対象区分」と「用途区分」の組み合わせによる、床面積区画プロパティのエラー表示の対象を拡張しました。

エラーが表示されたときは、プロパティを修正します。

床面積区画	容積率不算入対象区分	用途区分	計算式	面積(m2)	
B19	容積率不算入対象	共用廊下等(共住・老人ホーム等)	08170 老人ホーム・福祉ホーム他	3,500×7,000	24,500,000
B20	容積率不算入対象	共用廊下等(共住・老人ホーム等)	08170 老人ホーム・福祉ホーム他	7,000×3,050	21,350,000
B21	容積率不算入対象	共用廊下等(共住・老人ホーム等)	08180 保育所その他これに類するもの	2,700×3,700	9,990,000
B22	容積率不算入対象	車庫部分	08510 倉庫兼を兼ね倉庫	7,275×9,000	65,475,000
B23	容積率不算入対象	車庫部分	08490 自動車車庫	2,240×7,200	16,128,000
C1	床面積対象外		08170 老人ホーム・福祉ホーム他	3,297×1,280	4,220,160
C2	床面積対象外		08170 老人ホーム・福祉ホーム他	2,700×4,470	12,069,000

床面積区画のプロパティに不整合があります。容積率不算入対象区分と用途区分の組み合わせを確認してください。

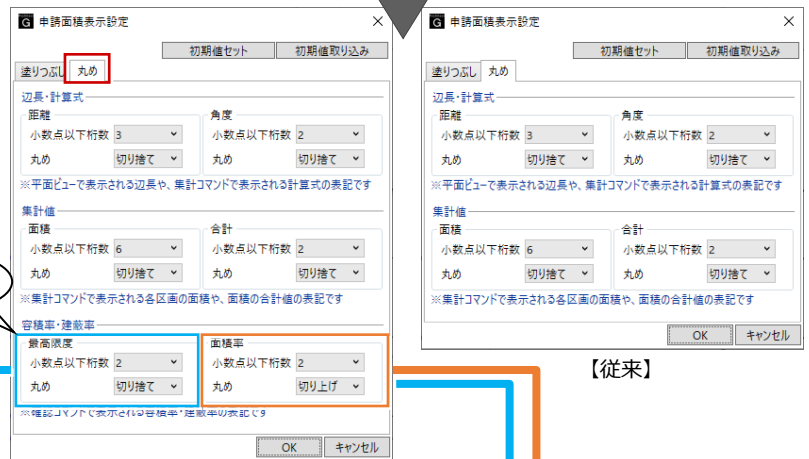
【組み合わせが不適切な場合】

【従来】のチェック区分	容積率不算入対象区分	適切な用途区分
【従来】のチェック区分	地階の住宅	「08010 一戸建ての住宅」「08020 長屋」「08030 共同住宅」
	地階の老人ホーム等	「08170 老人ホーム・福祉ホーム他」
【GLOBE2023】 拡張されたチェック区分	共用廊下等（共住・老人ホーム等）	「08030 共同住宅」「08170 老人ホーム・福祉ホーム他」 「08990 その他」（「両方の用途に供されている部分」を考慮）
	車庫部分	「08490 自動車車庫」「08500 自転車駐車場」

容積率・建蔽率の丸め設定追加

「申請面積表示設定」ダイアログの「丸め」タブに、「最高限度」と「面積率」の設定を追加しました。

これまで、確認画面の「%」表示は常に小数点以下2桁固定でしたが、設定が追加されたことで「最高限度」と「面積率」の丸めを参照して表示します。



設定追加

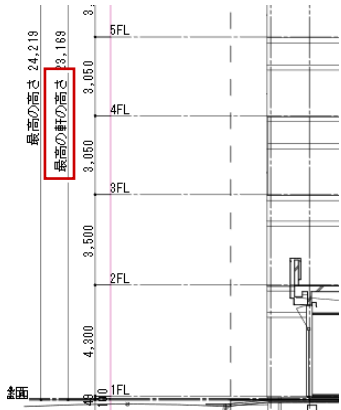
※ 以下の確認画面に丸めが反映します。

- ・容積率・建蔽率限度確認
- ・延べ面積・容積率確認
- ・建築面積・建蔽率確認

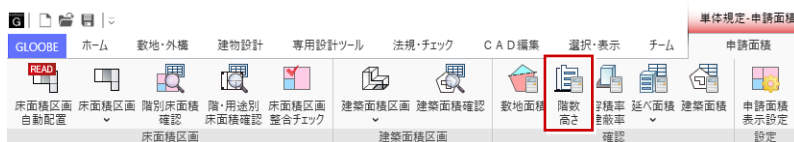
確認申請関連の高さ表記改良

確認申請書の表記に合わせて、「階数・高さ確認」ダイアログの「軒高」を「最高の軒の高さ」に変更しました。

確認申請断面図、確認申請燃焼断面図の寸法線には「最高の軒の高さ」と表記します。



【GLOBE 2023：確認申請断面図】



【GLOBE 2023】



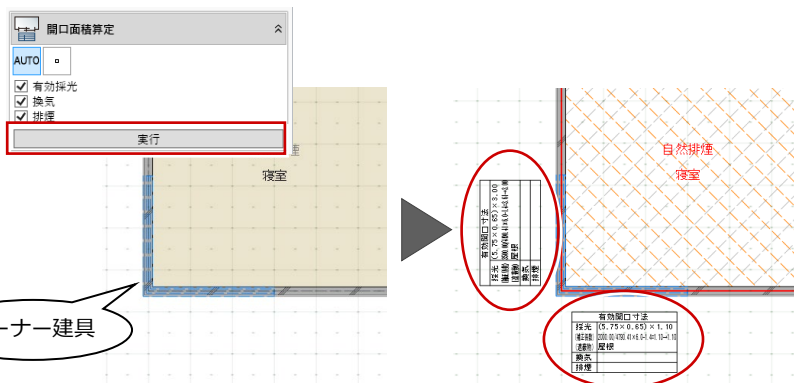
【従来】

法規 LVS 有効開口面積計算拡張

コーナー建具の場合に、向いている面ごとの有効開口面積計算に対応しました。

コーナー建具の採光計算で道路と隣地境界線の場合には、道路側/隣地側それぞれで一つずつの有効開口面積計算が可能になります。

判定根拠確認ウィンドウでは、これまでコーナー建具に対して一つの行しか表示されませんでしたが、コーナー建具の面の数だけ行ができるようになりました。



コーナー建具



【GLOBE 2023】

採光区画名称	判定	必要採光面積(m2)	有効開口面積(m2)	採光区画内訳				開口内訳								
				区画床面積(m2)	割合	室名	居室床面積(m2)	名称	記号	番号	仕様	有効開口寸法	補正係数			
居室	OK	4.72	15.32	33.00	1/7	居室	33.00					0		11.21	(5.75×0.65)×3.00	3500.00/4190.41×6.0-1.4=3.61-3.00
														4.11	(5.75×0.65)×1.10	2000.00/4790.41×6.0-1.4=1.10-1.10

2行で表示
(コーナー建具の面の数)

【従来】

採光区画名称	判定	必要採光面積(m2)	有効開口面積(m2)	採光区画内訳				開口内訳								
				区画床面積(m2)	割合	室名	居室床面積(m2)	名称	記号	番号	仕様	有効開口寸法	補正係数			
居室	OK	4.71	11.21	33.00	1/7	居室	33.00	未確定					0	11.21	(5.75×0.65)×3.00	3950.00/1975.00×6.0-1.4=10.60-3.00

法規 LVS 判定表の名称順表示

これまで区画名は入力順で表示していましたが、区画の名称順（表示名含む）で表示するよう対応しました。手で並べ替える手間を軽減できます。

※「判定表根拠確認」ウィンドウ、図面の「法規 LVS 判定表」も名称順（表示名含む）で作成されます。

区画名	床面積	対象	必要面積(m2)	必要面積計算式	有効面積(m2)	有効面積計算式	判定
エントランスホール	82.75	換気	4.14	$(9.00 \times 9.00 + (7.00 \times 0.25)) \times 1/20$	16.97	$1.52 \times 0.85 + (1.52 \times 0.85) + (1.52 \times 0.85) + (1.52 \times 0.85)$	OK
ホール・前室・フロント	66.37	換気	3.32	$(7.00 \times 3.05 + (2.73 \times 1.03) + (4.13 \times 2.30) + (2.60 \times 6.00) + (1.20 \times 1.00) + (4.30 \times 3.70)) \times 1/20$	3.34	$1.70 \times 0.54 + (1.50 \times 0.54) + (3.07 \times 1.12) \times 1/20$	OK
事務所・休憩室	55.69	換気	2.78	$(6.73 \times 2.97 + (4.13 \times 6.00) + (2.60 \times 4.20)) \times 1/20$	3.72	$1.50 \times 0.85 + (1.50 \times 0.85) + (1.36 \times 0.85)$	OK
脱衣室 (M)	11.48	換気	0.57	$3.28 \times 3.50 \times 1/20$	0.68	$0.75 \times 0.45 + (0.75 \times 0.45)$	OK
脱衣室 (W)	11.48	換気	0.57	$3.28 \times 3.50 \times 1/20$	0.68	$0.75 \times 0.45 + (0.75 \times 0.45)$	OK
浴室 (M)	14.00	換気	0.70	$4.00 \times 3.50 \times 1/20$	0.82	$0.90 \times 0.45 + (0.90 \times 0.45)$	OK
浴室 (W)	14.00	換気	0.70	$4.00 \times 3.50 \times 1/20$	0.82	$0.90 \times 0.45 + (0.90 \times 0.45)$	OK

換気区画名称	判定	必要換気面積(m2)	有効開口面積(m2)	区画床面積(m2)	割合	区画名
エントランスホール	OK	4.14	16.97	82.75	1/20	エントランスホール
ホール・前室・フロント	OK	3.32	7.12	66.37	1/20	ホール・前室・フロント
事務所・休憩室	OK	2.78	3.72	55.69	1/20	事務所・休憩室

階	換気区画名称	判定	必要換気面積(m2)	有効開口面積(m2)	割合	区画名	
1F	エントランスホール	OK	4.14	16.97	82.75	1/20	エントランスホール
	ホール・前室・フロント	OK	3.32	3.84	66.37	1/20	ホール・前室・フロント
	事務所・休憩室	OK	2.78	3.72	55.69	1/20	事務所・休憩室
	脱衣室 (M)	OK	0.57	0.68	11.48	1/20	脱衣室 (M)
	脱衣室 (W)	OK	0.57	0.68	11.48	1/20	脱衣室 (W)
	浴室 (M)	OK	0.70	0.82	14.00	1/20	浴室 (M)
	浴室 (W)	OK	0.70	0.82	14.00	1/20	浴室 (W)
2F	キョーラリ	OK	2.67	2.81	53.38	1/20	キョーラリ
	食事会場・配膳室・ホール	NG	8.57	7.26	171.58	1/20	食事会場・配膳室・ホール
	厨房	OK	1.80	2.81	32.03	1/20	厨房
	住室 9-1	OK	0.72	2.10	14.50	1/20	住室 9-1

法規 LVS 面積の丸め設定追加

「LVS 設定」ダイアログの「全般」タブに、「有効面積」を追加して、従来からあった「面積」は「床面積・必要面積」に変更しました。「床面積・必要面積」と「有効面積」でそれぞれの丸め設定が可能になります。「有効面積」を「切り捨て」にして、安全側の設計ができます。

項目	GLOBE 2023	従来
面積	床面積・必要面積	面積
有効面積	有効面積	有効面積
丸め	丸め	丸め

動線一覧に「最短」列を追加

移動距離・歩行距離ともに「最短」の列を追加しました。それぞれで「最短距離」が確認でき、確認申請で2以上の避難階段への歩行距離にも活用できます。

緑色	移動距離	歩行距離
	最長(mm)	最長(mm)
	最短(mm)	最短(mm)
	累計(mm)	累計(mm)
	重複(mm)	重複(mm)

CAD 編集

2D 部品の追加

確認申請図面などの加筆で使える部品データを追加しました。

「CAD 編集」タブで「部品」メニューの「部品挿入」からコレクションファイルを追加して、使用できます。

The '部品コレクション' dialog box shows a list of files to be added to the collection. The '部品挿入' menu option is highlighted in the CAD interface.

チームシステム

チームシステム機能拡張

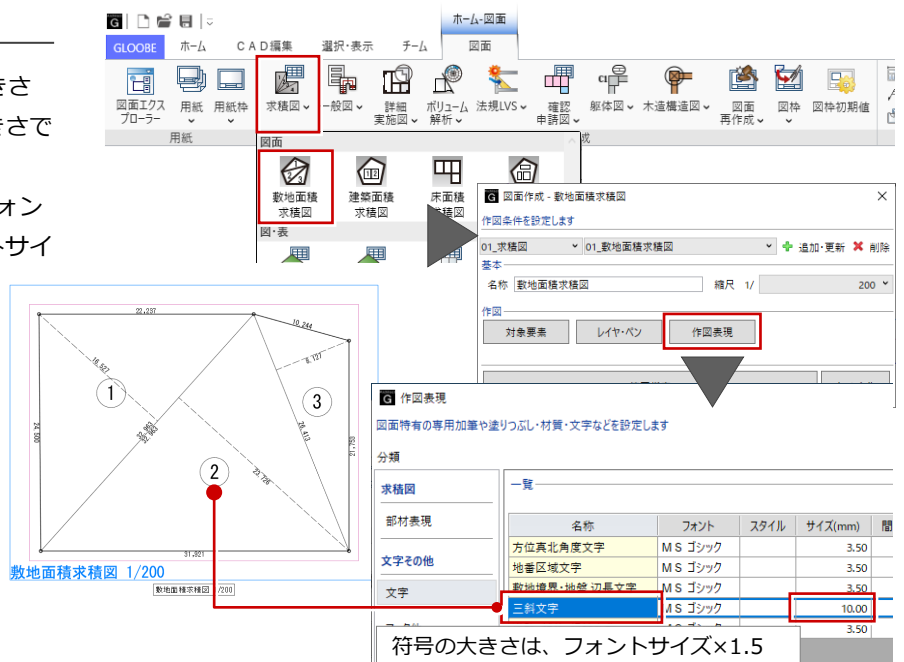
- ・「作業対象プロジェクトの選択」ダイアログで更新日時も表示するようにしました。
- ・プロジェクトの一覧表示のパフォーマンスを改良しました。
- ・GLOOBE 2023 で新たに追加されたコマンドについて、チームシステムでも対応しました。
- ※ 点群ガイド線の編集権限を追加
- ※ 木造構造図（床伏図・軸組図）の作図と、特記の編集



図面・GLOOBE シート

面積区画符号サイズの対応

これまで文字列の長さによって符号の大きさがバラバラになっていたのを、一定の大きさで表示するように対応しました。文字の大きさは「作図表現（文字）」のフォントサイズで指定し、円のサイズはフォントサイズの1.5倍で作成します。

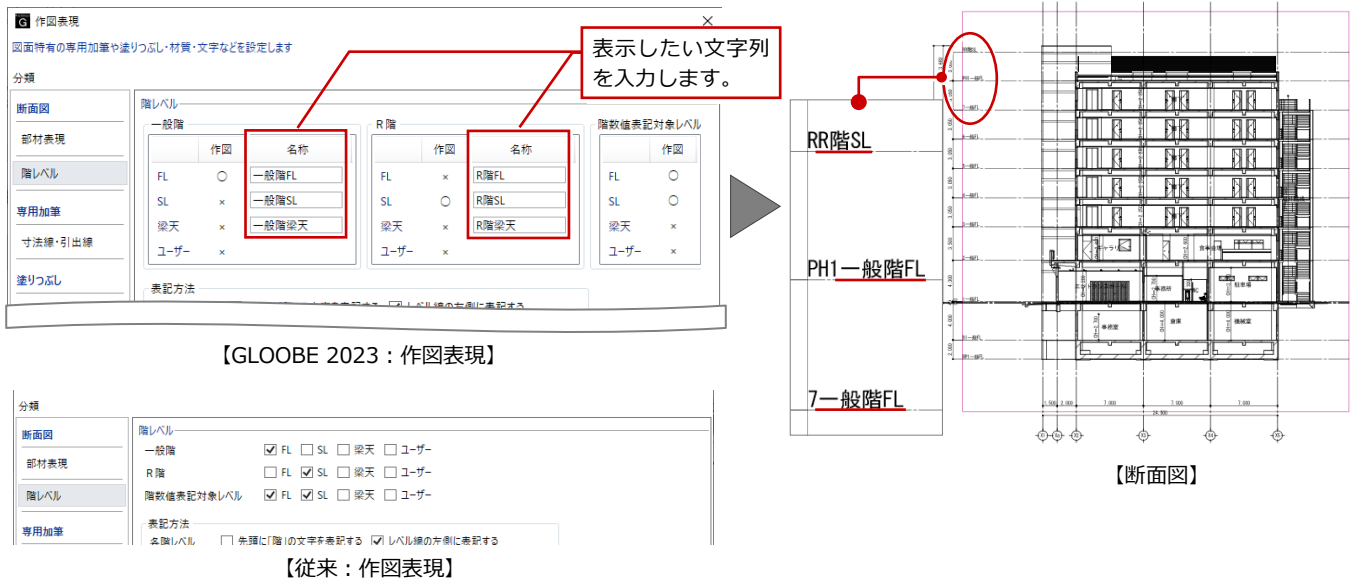


- ※ 符号サイズの対応は、図面・シート作成の画面とモデル入力画面で対応しています。以下が、対象の図面で、各図面の作図表現で参照するフォントサイズの「名称」です。

図面	作図表現（文字）の名称
求積図－敷地面積求積図	三斜文字
求積図－建築面積求積図、確認申請図－建築面積求積図	建築面積区画番号
求積図－床面積求積図、確認申請図－床面積求積図	床面積区画番号
求積図－領域面積求積図	区画番号
モデル：「法規・チェック」タブ	「選択・表示」タブの作図表現（文字）の名称
申請面積－床面積区画	床面積区画番号
申請面積－建築面積区画	建築面積区画番号

高さ名称別名表示対応

立面・断面系の図面にて、階レベルを任意の文字列で作図するように対応しました。これにより、手動で文字列を編集する手間を軽減できます。



法規 LVS の作図表現に設定追加

法規 LVS 面積求積図

「作図表現」の「LVS 区画面積」に「法規 LVS タブの LVS 設定を使う」のチェックを追加しました。

ON にした場合は、「法規 LVS」の「LVS 設定」から「全般」タブで「面積式」の丸めを参照します。丸めの値が統一され、求積図と求積表で整合性がとりやすくなります。



LVS 面積計算表

「法規 LVS タブの LVS 設定を使う」が ON の場合は、LVS 面積計算表の丸めも「面積式」の丸めを参照します。

※ 法規 LVS 面積求積図の「辺長」、LVS 面積計算表の小数点以下桁数は 6 桁→10 桁まで設定可能になりました。

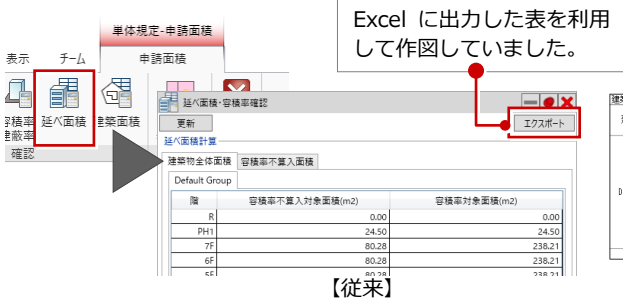


複合建築物における「共用廊下等」の容積率不算入面積按分計算に関連する作図対応

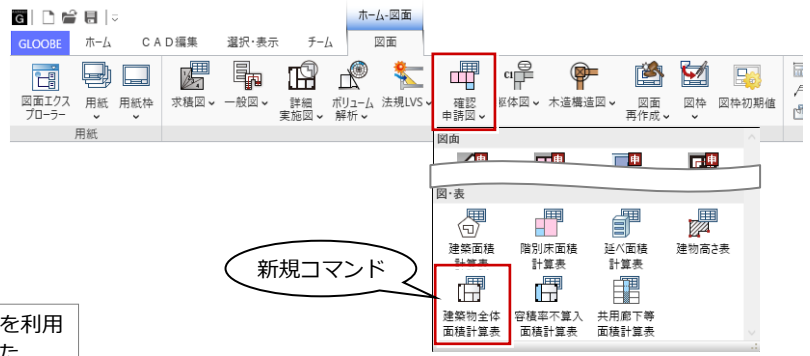
「建築物全体面積計算表」コマンド追加

「容積率不算入対象面積」を「階」・「区分」別に集計した建築物全体の面積表を作成するコマンドを追加しました。

これまで「延べ面積・容積率確認」ダイアログから「エクスポート」で Excel に出力した表を画面側で表配置して置きました。その手間を軽減できます。



【従来】



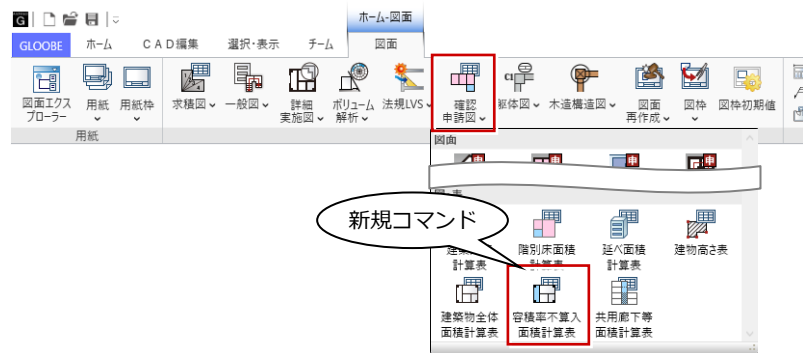
【GLOBE 2023】

階	地階部分	昇降路部分	専用部分	区分対象部分	専有部分	備蓄倉庫部分	蓄電池部分	自家発電部分	貯水槽部分	宅配ボックス	調整設備等	坪面積(m ²)
R	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
PH1	0.00	0.00	24.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.50
7F	0.00	0.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21
6F	0.00	0.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21
5F	0.00	0.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21
4F	0.00	0.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21
3F	0.00	0.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21
2F	0.00	0.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21
1F	0.00	0.99	45.35	82.75	81.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	174.42
BP1	233.56	3.99	14.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.48
BP1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建築物全体	233.56	79.92	521.24	82.75	81.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1657.98

「容積率不算入面積計算表」コマンド追加

「容積率不算入面積」を「容積率不算入対象区分」ごとに集計した面積表を作成するコマンドを追加しました。

「建築物全体面積計算表」と同様に、これまで「延べ面積・容積率確認」ダイアログから「エクスポート」で Excel に出力した表を画面側で表配置して置きました。その手間を軽減できます。



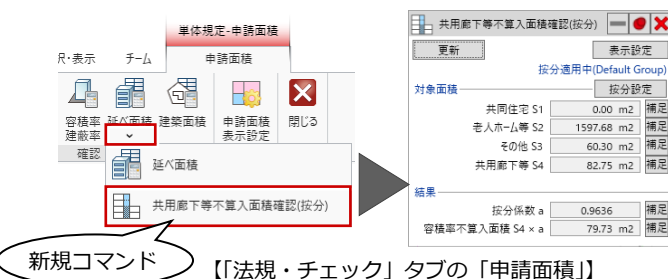
容積率不算入対象区分	容積率不算入対象面積(m ²)	容積率不算入面積(m ²)
地階部分(住宅・老人ホーム等)	233.56	233.56
昇降路部分	79.92	79.92
共用廊下等(共住・老人ホーム等)	603.99	600.97
車庫部分	81.60	81.60
備蓄倉庫部分	0.00	0.00
蓄電池部分	0.00	0.00
自家発電部分	0.00	0.00
貯水槽部分	0.00	0.00
宅配ボックス	0.00	0.00
合計	999.07	996.05

【GLOBE 2023】

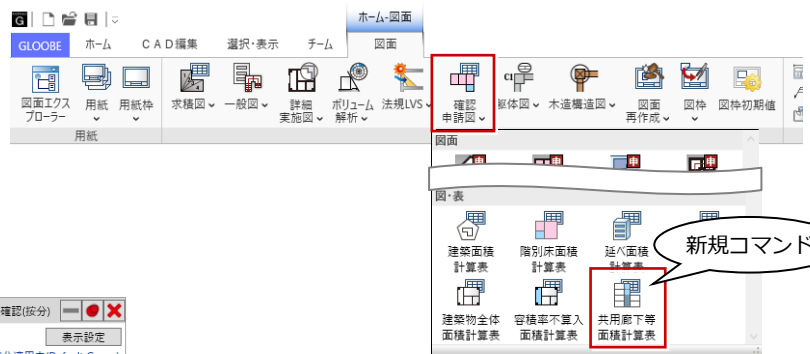
「共用廊下等不算入面積計算表(按分)」コマンド追加

「共用廊下等不算入面積確認(按分)」ダイアログの内容で面積表を作成するコマンドを追加しました。

按分対象共用廊下等容積率不算入面積の根拠確認が可能になります。



【「法規・チェック」タブの「申請面積」】



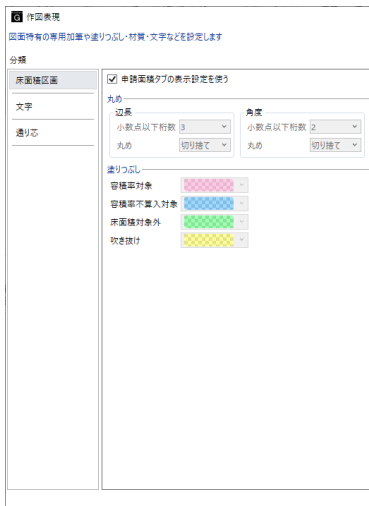
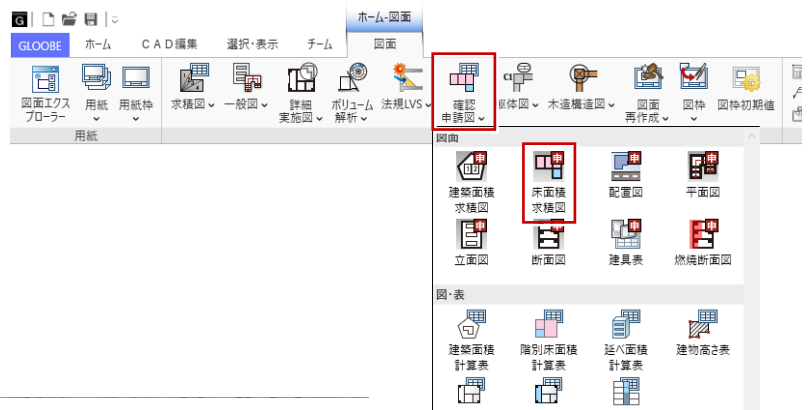
対象	面積(m ²)	容積率
共同住宅対象面積 S1 (m ²)	0.00	0.00
老人ホーム等対象面積 S2 (m ²)	1597.68	1597.68
非共同住宅・老人ホーム等対象面積 S3 (m ²)	60.30	60.30
按分係数 a = (S1 + S2) / (S1 + S2 + S3)	0.9636	0.9636
按分対象共用廊下等対象面積 S4 (m ²)	82.75	82.75
容積率不算入面積 A = S4 × a	79.73	79.73

確認申請床面積求積図の拡張

用途に供する部分が複合している場合の、対象区画の作図に対応しました。

「作図表現」で「申請面積タブの表示設定を使う」がONの場合は、床面積区画の塗りつぶしに共用廊下等不算入面積確認(按分)における連結区画のハッチングを重ねて作図します。

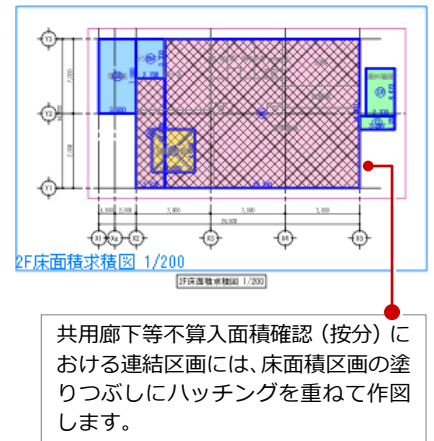
容積率不算入面積按分計算の対象範囲の確認が可能になります。



【従来：作図表現】



【GLOBE 2023：作図表現】

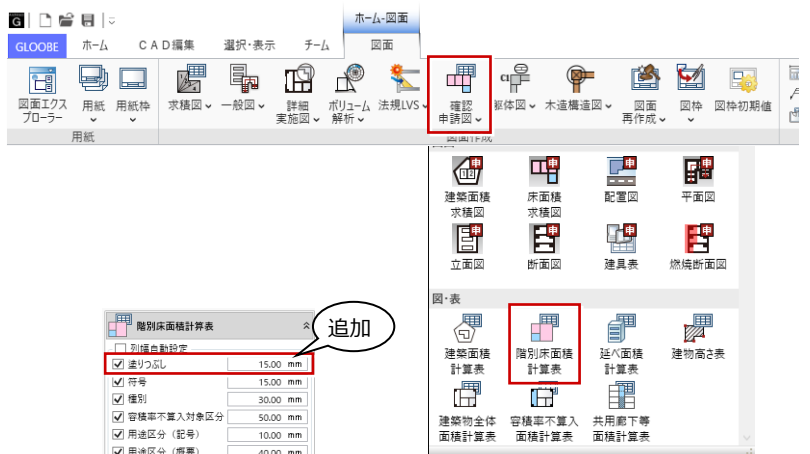


共用廊下等不算入面積確認(按分)における連結区画には、床面積区画の塗りつぶしにハッチングを重ねて作図します。

階別床面積計算表の拡張

「容積率不算入対象区分」ごとの内訳行を追加しました。建築物全体面積計算表におけるの根拠確認が可能になります。

また、共用廊下等不算入面積確認(按分)における連結区画のハッチングと床面積区画の塗りつぶし、符号の識別がしやすいように列を新たに追加しました。



【従来】

塗りつぶし	符号	種別	容積率不算入対象区分	用途区分	計算式	面積(m ²)	
	A4	容積率対象	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	2,700×10,300	27.810000	27.810000	
	A5	容積率対象	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	18,300×14,000	256.200000	256.200000	
	B24	容積率不算入対象	昇降路部分	2,700×3,700	9.990000	9.990000	
	B25	容積率不算入対象	共用廊下等(共住・老人ホーム等)	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	3,500×7,000	24.500000	
	C3	床面積対象外	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	3,297×1,280	4.220160	4.220160	
	C4	床面積対象外	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	2,700×4,470	12.069000	12.069000	
	D1	吹き抜け	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	4,000×4,000	-16.000000	-16.000000	
容積率対象面積						合計	9.99
容積率不算入対象面積						昇降路部分	9.99
						共用廊下等(共住・老人ホーム等)	24.50
						合計	34.49
床面積対象外面積						合計	16.28

【GLOBE 2023】

符号	種別	容積率不算入対象区分	用途区分	計算式	面積(m ²)	
A12	容積率対象	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	2,700×10,300	27.810000	27.810000	
A13	容積率対象	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	18,300×14,000	256.200000	256.200000	
B16	容積率不算入対象	昇降路部分	2,700×3,700	9.990000	9.990000	
B17	容積率不算入対象	共用廊下等(共住・老人ホーム等)	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	3,500×7,000	24.500000	
C3	床面積対象外	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	3,297×1,280	4.220160	4.220160	
C4	床面積対象外	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	2,700×4,470	12.069000	12.069000	
D1	吹き抜け	08170 老人ホーム、福祉ホーム他	4,000×4,000	-16.000000	-16.000000	
容積率対象面積					合計	289.01
容積率不算入対象面積					合計	34.49
床面積対象外面積					合計	16.28

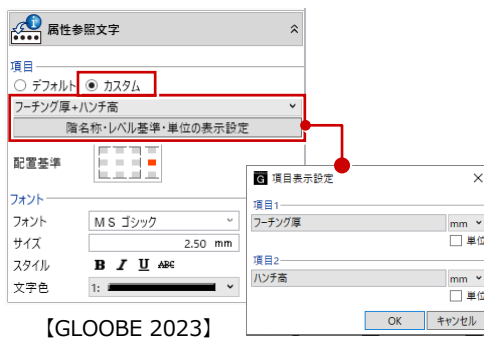
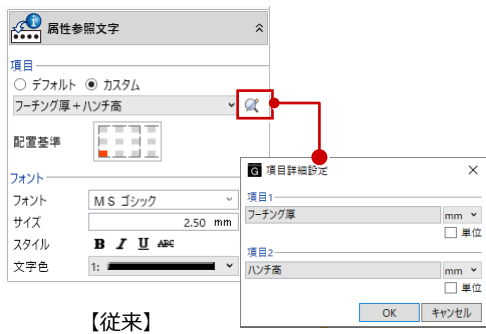
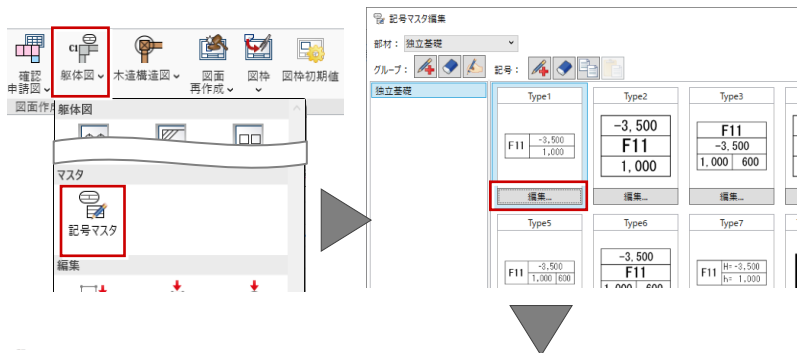
リスト図の拡張

- ・部材種別ごとにリスト枠サイズの設定を可能にしました。見やすいリスト図が作図できるようになります。
- ・行・列の改行設定を設け、改ページに対応しました。リスト登録が多い部材でも用紙枠に収まるよう作図できるようになります。



記号マスタ (属性参照文字) の拡張

- 「記号マスタ」から「属性参照文字」コマンドで「カスタム」を選択したときに、「階名称・レベル基準・単位の表示設定」ボタンを表示しました。
- サイドパネルに表示したことで設定の確認や変更がしやすくなります。



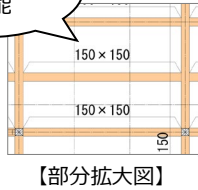
※ カスタム項目がない場合、「階名称・レベル基準・単位の表示設定」はクリックできません。

木造床伏図・木造軸組図コマンド追加

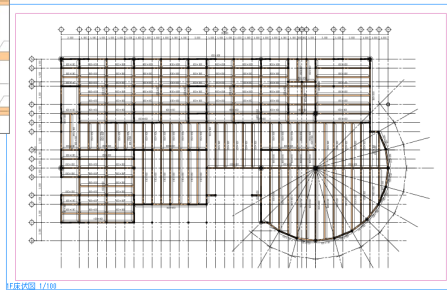
木造床伏図、木造軸組図を作成するコマンドを追加しました。

図面作成時には、梁寸法の自動配置も可能です。

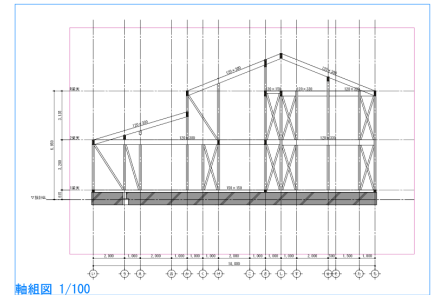
梁寸法も自動
作成可能



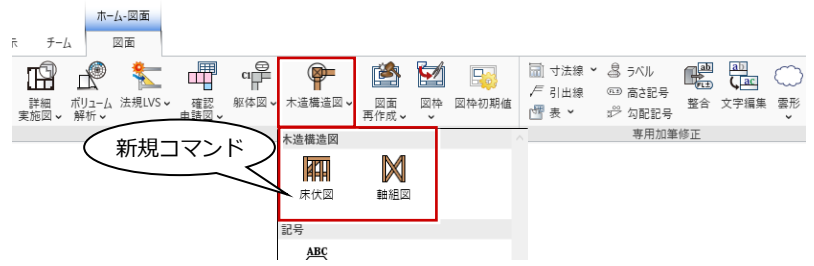
【部分拡大図】



【木造床伏図】



【木造軸組図】

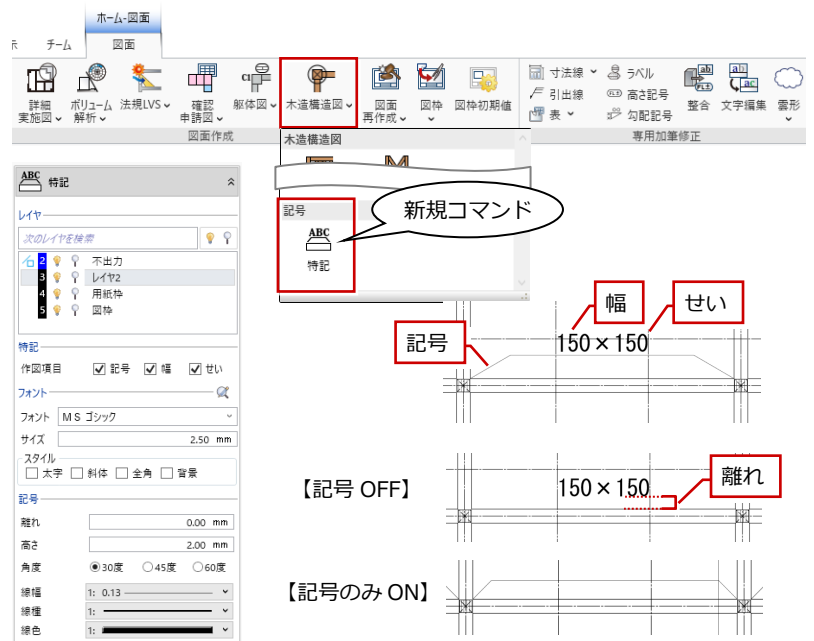


新規コマンド

特記コマンド追加

木造構造図の中の「記号」グループに特記コマンドを追加しました。

「特記」の作図項目や「フォント」、「記号」で特記の表記について設定し、必要な梁の寸法を加筆できます。



記号

幅

せい

150×150

【記号 OFF】

150×150

離れ

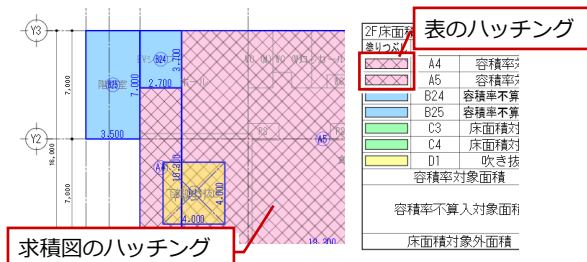
【記号のみ ON】

凡列表の拡張

「凡列表」の「表スタイル」に「凡例」タブを追加し、ハッチングの縮尺を設定できるようになりました。求積図と表のハッチングの縮尺を合わせることができます。

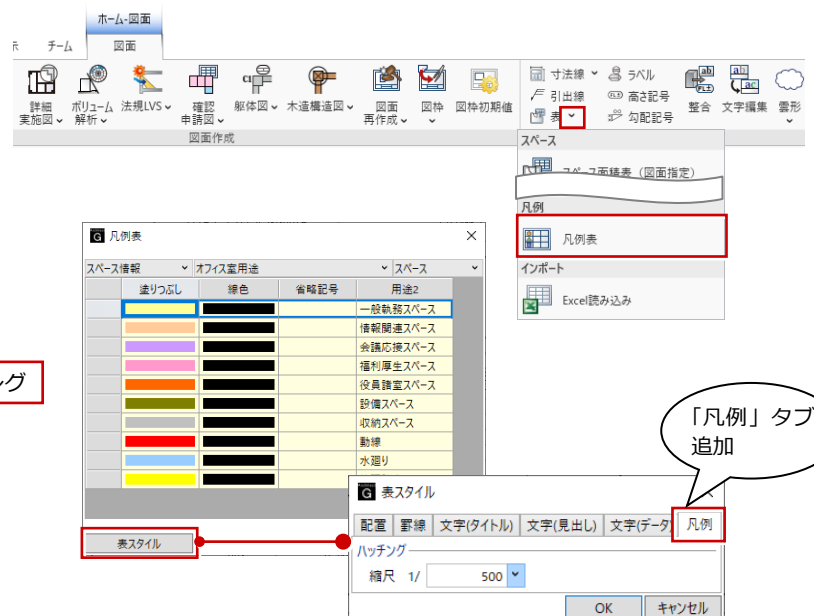
なお、「凡例」タブが表示されるのは、「凡列表」「階別床面積表」「共用廊下等不算入面積表（按分）」です。

※ 確認申請床面積求積図と階別床面積表のハッチング



求積図のハッチング

表のハッチング



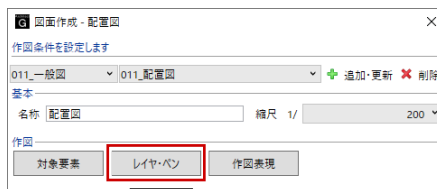
「凡例」タブ
追加

構造部材 (未定義) ペン設定追加

構造部材 (柱・梁・壁・水平ブレース・垂直ブレース) のペン設定を追加しました。

【対象図面】

一般図面	配置図、平面図、断面図、立面図、天井伏図
実施設計図	平面詳細図、矩計図、建具キープラン、展開図
法規 LVS	平面図、断面図
確認申請図	平面図、断面図、立面図、燃焼断面図



寸法位置コマンドの拡張

階高寸法押さえ位置を表示するようにしました。

- ・デフォルトで設定された階高寸法位置には「規定位置」を表示します。
- ・追加した階高寸法の押さえ位置には指定した「FL」「SL」「梁天」の文字を表示します。
- ・押さえ位置指定のない場合は「入力位置」を表示します。

※「規定位置」は範囲編集時に表示します。



【「階高寸法押さえ位置」指定：あり】

【「階高寸法押さえ位置」指定：ない】

